

白藍塾オリジナル

2024年度 入試小論文分析&解答のヒント

2024年4月発行

白藍塾の入試小論文分析は、他の予備校と違って、その問題に対して受験生がどのようにアプローチすればよいのかを具体的に説明している。そのため、この分析を参考にすれば、誰でも合格レベルの答案を書けるはずだ。該当の大学・学部の志望者は、ぜひ、これを読んで、自分で実際に答案を書いてみてほしい。

執筆・大原理志

● 早稲田・スポーツ科学部

今年度の課題は、「この世からスポーツがなくなったらどうなるか」を論じることが求められている。

今回も変則的な問いで、どう考えればよいのかとまどう人が多いかもしれない。だが、逆に「スポーツがあることで、この世はどうなっているか」「スポーツがこの世に何をもたらしているか」を考えると、出題の意図をつかみやすい。つまり、社会におけるスポーツの存在意義、スポーツの社会的意義や役割、といったものを考えさせようとしているわけだ。

答えはいろいろと考えられる。健康増進、体力の向上といった身体的な側面だけでなく、コミュニケーションや世代を超えた交流の場としての役割もあるだろうし、連帯感や責任感を養うための教育的な場としても機能しているかもしれない。ストレスの発散や精神的な充足をもたらすといった精神的な側面も重要だろう。

いずれにせよ、そうしたスポーツの社会的意義を自分なりにしっかりと考え、論じることができれば、十分説得力のある答案になる。

ちなみに、当然のことだが、間違っても「この世からスポーツがなくなるほうが好ましい」という方向で書くべきではない。プロの書き手なら逆説としてそういう書き方でも説得力を持たせられるかもしれないが、受験生にはまず無理なので、思いつきでやってはいけない。

書き方としては、4部構成を応用して、最初に「スポーツがなくなるとこうなる」と書き、第2部以降でそれを検証していく形にする。第3部で、自分の考えるスポーツの意義（スポーツがあることで何がよいのか）についてくわしく説明するとよいはずだ。

* 執筆者の許可なく本紙の全部もしくは一部を無断転載、無断複写することを固く禁じます。

発行・白藍塾総合情報室 (03-3369-1179) <https://hakuranjuku.co.jp>